

2017年度 事業報告



社会福祉法人
北海道いのちの電話

いのちの電話の活動基本方針

いのちの電話は

1. 自殺を思うほどに悩む人の隣人として共に考え、心の支えになることを目的としています。
2. 秘密を必ず守ります。
3. 24 時間いつでもかけられます。
4. 名前を告げる必要はありません。
5. 相談は無料です。
6. お互いの宗教や思想は尊重します。
7. 相談にあたるのは所定の研修を受けた相談員です。

沿 革

この活動は 1953 年にロンドンにおいて自殺予防を目的として始められました。世界 100 か国、1000 を超える都市で活動が続けられています。北海道いのちの電話は 1979 年 1 月 25 日に開局し、2019 年 1 月 25 日で 40 年を迎えます。

ごあいさつ

理事長 南 槇子

2017年度の北海道いのちの電話の活動に対しまして、多くの企業・団体・個人の皆様をはじめ、北海道・札幌市から、ご支援、ご協力を賜りましたことを、こころから感謝申し上げます。お陰様で皆様からのご寄付、補助金などで2017年度の収入は、2100万円を超えることが出来ました。

北海道いのちの電話は1979年に開局し、来年で40周年を迎えます。

悩める方々から、昨年は15,000件余の電話相談を受け、開局からはこれまで60万件的相談を受けております。

しかしながら、働くボランティア相談員はこの数年減少し、登録は175名、実際に電話を受けている相談員は150名を切っております。相談員の平均年齢は60歳を超え高齢化による体調不良、家族の介護などで休務する方が増加する現状にあります。毎年の相談員募集で、参加数は2017年20名、2018年17名でした。この方たちが相談員として誕生すると、もう少し増加することを期待しています。

この状態を打開するため、また増える若者たちのへの自殺予防を呼びかけるため、法人として社会的な発信力を強める活動を、積極的にやっているところです。

1 昨年からは札幌市から受託している「ゲートキーパー研修」を、昨年は旭川でも開催、7回実施いたしました。新しく学校・企業などへ出向き、いのちの電話の存在を知らせる、自分の悩みを語る、それを聴くという実習も含めた講演活動を8回実施。またこの数年開催している地下歩行空間での「いのちミュージックデー」も開催、これらの事業には支援協力して下さるサポーターズボランティアの働きが、大きな力を発揮しています。

2018年度もこれらの活動を推進し、社会的な発信を強力に進めていくと共に、悩みを抱える方々の心に寄り添い、受け止める電話を1本でも多く取れるよう、努力して参りますので、より一層のご支援を承りますようお願いする次第です。

2017年度 北海道いのちの電話 概況

設立	1979年1月25日
法人認可	1983年12月23日
組織	理事10名 評議員21名 監事2名
在籍相談員数	175名(2018年3月末現在)
年間受信件数	15,248件(男7,350件 女7,898件)
相談時間	24時間(年中無休)
相談員研修	養成研修 1年目 毎週1回 2年目 月2回 継続研修 毎月1回
関連団体	日本いのちの電話連盟 各地いのちの電話 50局

2017年度 委員会報告

研修委員会

委員長 佐々木敏明

2017年度は、171名の登録相談員によってスタートしたが、実際に担当している相談員は130名から140名である。養成講座を終了した39期生の10名が新たに相談員として認定されているが、高齢化にともなって自身の健康状態や家族の介護などもあって相談員を辞退するなど、減少傾向が続いており、次第に24時間体制を維持することが困難になってきているのが実態である。そのため、研修委員会としては、相談員に対するサポート体制と研修内容の充実を図るとともに、自殺予防対策として札幌市から委託されたゲートキーパーとして市民を養成する研修を通して、いのちの電話の意義を周知することや、青少年の自殺予防に対応する高校生の研修などに取り組んでいる。

事業推進委員会

委員長 牧 泰昌

サポーターズの協力のもと、法人の活動を市民に広く知っていただき、協力と支援の輪を大きくする活動をしました

札幌市が主催するゲートキーパー研修受託事業と、北海道の補助事業によるゲートキーパー研修実施の他、中学・高等学校や企業や団体への講演を実施しました。

9月8日（金）世界自殺予防デー啓発テッシュ配布を JR 札幌駅、東・西改札口前にて実施しました。

9月10日（日）「いのちミュージックデー（IMD）」を、札幌地下歩行空間北3条交差点で9組演奏しました。

サポーターズはゲートキーパー研修や学校・企業・団体への講演に、支援者として参加しています。

支援企画委員会

委員長 坪田 伸一

市民公開講座やリフレッシュフェスタ、テーブルショップを通じ、一般の方々や相談員に向けて、法人活動への理解と協力を呼びかける活動を行いました。

北星学園大学の田辺等教授を講師に、「人はなぜ自傷し、自殺するか～アディクションからの回復のために」と題した2017年度の市民公開講座は、聴講を希望される方が多く、10月21日と2018年3月24日の2回、開催しました。

9月23日の「リフレッシュフェスタ」は、今年で3回目の開催。自由な交流と語らいの時間が相談員の良い息抜きになっています。

相談員の要望に応じて、手作り品を販売するテーブルショップを年末限定で開店し、売り上げを法人の収入としました。

広報委員会

委員長 吉田 陸雄

広報誌を3回発行しました。

その内容は

130号(7月)は、北海道いのちの電話が新たに取り組んだ、中・高・専門学校生を対象とする「いのちの尊さを考える授業」と、2016年後半から取り組んだ「市民向けゲートキーパー養成研修事業」について特集しました。

131号(11月)は同年10月21日(土)に札幌市中央区の市民ホールで開催した「市民公開講座」での、田辺等北星学園大教授の講演「人はなぜ自傷し自殺するか～アディクションからの回復のために」の内容を紹介しました。

132号(2018年3月)は、年間自殺者が減っているのに、10代の自殺だけが増加している実態に注目し、北海道教育委員会、チャイルドラインほっかいどう、札幌市児童相談所それぞれの対応を取材、報告しました。

財務委員会

委員長 嶋津 博

人件費・退職金・40周年記念事業会計について委員会を開催し検討しました。

倫理委員会・苦情対応委員会

今年度は開催されませんでした。

2017（平成29）年 相談電話統計

1. 受信状況

2017年（1月～12月）の送受信件数は15,248件で、昨年より1,668件減少しています。

性別では、男性7,350件、女性7,898件と、女性からの相談が、男性からのそれを上回りました。

1日平均受信数は42件（2017年46件）です。1件当たりの相談時間数が38.4分（前年36.4分）と長めとなっており、一層深刻な相談電話が増えたことが要因と思われます。

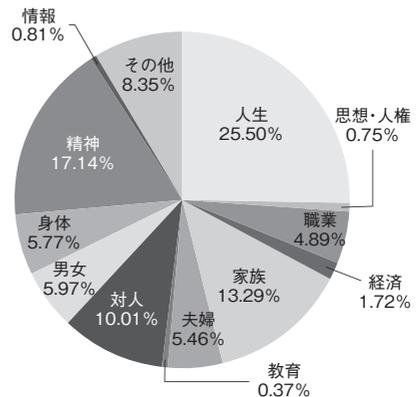
通常電話での、自殺傾向総数は1,918件で、性別では男性778件、女性1140件で、件数は共に減少していますが、総受信数に対する割合は12.6%と、前年の11.9%を上回っています。また、女性は男性の1.46倍で、前年の1.40倍をやや上回っています。

自殺予防フリーダイヤルは、毎月10日午前8時～午後9時30分（うち5月・9月・11月は24時間受信）実施し、年間12回の受信数は415件（男性224件、女性191件）でした。

2. 問題別件数

「人生」が25.5%と昨年より1.2%増加し、やはり「どう生きていけばよいか」「生き甲斐がない」など、先行きの不安や「孤立している」「孤独で寂しい」と語る相談が少なくありません。また「精神」では「家族の理解がない」「医療機関では話を聞いてもらえない」と話す方も少なくなく、「人生」「精神」の問題を抱える内、自殺傾向がともに高い割合であることから、今後もしっかりと意識をもって傾聴していくことが大切と考えています。

	男	女	2017 合計	2016 合計
人 生	2,104	1,784	3,888	4,110
思想・人権	64	50	114	102
職 業	385	360	745	794
経 済	93	169	262	292
家 族	567	1,459	2,026	2,179
夫 婦	354	478	832	994
教 育	24	32	56	63
対 人	493	1,033	1,526	1,759
男 女	363	547	910	1,072
身 体	498	382	880	1,080
精 神	1,258	1,355	2,613	2,973
情 報	75	48	123	140
そ の 他	1,072	201	1,273	1,358
総 計	7,350	7,898	15,248	16,916

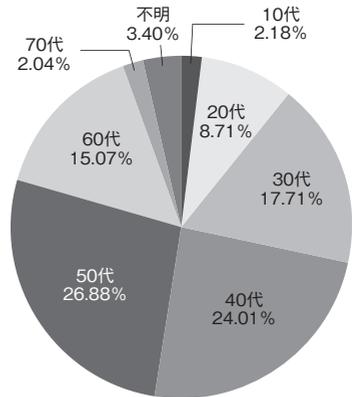


3. 年代別件数

総件数が前年比1,668件減少しているが、男女計で60代だけが185件増加しています。

年代別構成は、50代26.9%、40代24%、30代17.7%と3年代で全体の70%近く占めており、前年とほぼ同じ割合となっています。

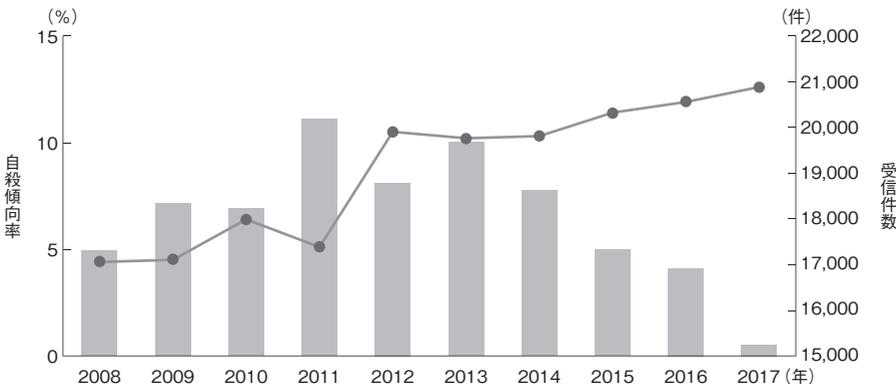
	男	女	2017年	2016年
9歳以下	0	0	0	1
10代	260	72	332	375
20代	675	653	1,328	1,576
30代	1,319	1,381	2,700	3,313
40代	1,787	1,874	3,661	4,316
50代	1,957	2,142	4,099	4,342
60代	954	1,344	2,298	2,113
70代以上	98	213	311	348
不明	300	219	519	532
合計	7,350	7,898	15,248	16,916



4. 10年間の自殺傾向率

2017年は総受信件数の12.6%と昨年より0.7%増えています。前年と比べて自殺傾向件数が減少している中、割合が増えていることは、より困難を抱え、深刻な訴えをされる方が増えていることが考えられます。

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
自殺傾向件数	754	831	1,159	1,020	1,968	2,002	1,914	1,967	2,021	1,918
総受信件数	17,297	18,336	18,220	20,176	18,787	19,679	18,625	17,319	16,916	15,248
自殺傾向率(%)	4.4%	4.5%	6.4%	5.1%	10.5%	10.2%	10.3%	11.4%	11.9%	12.6%



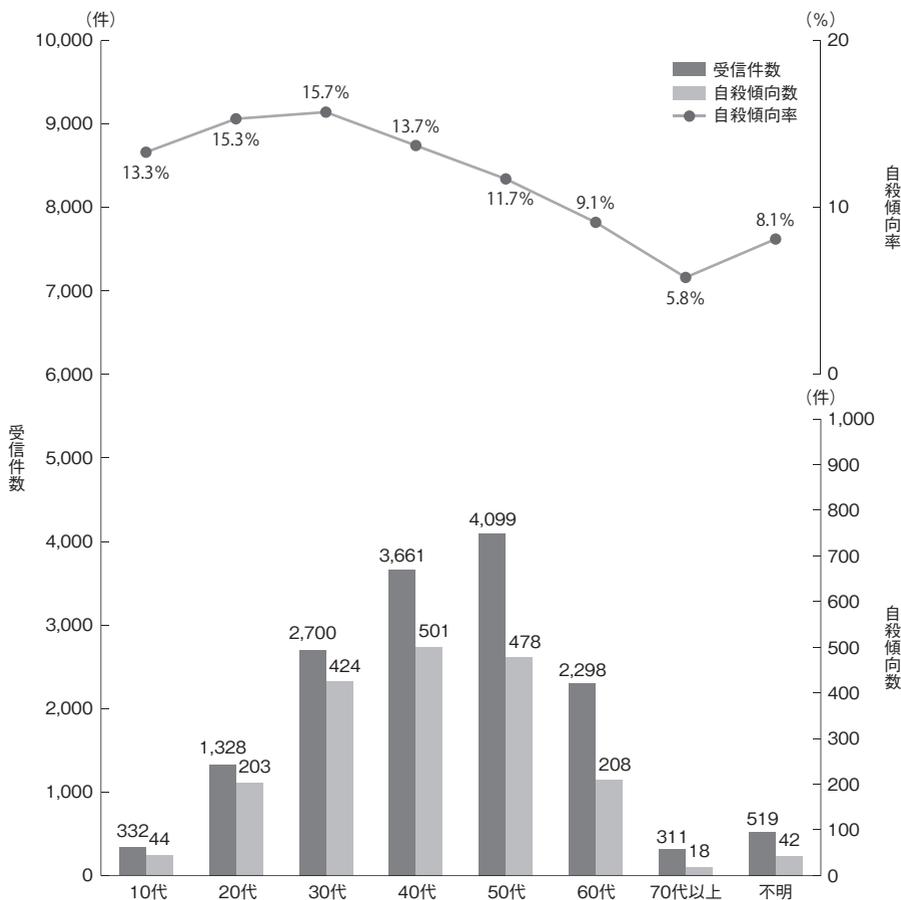
5. 年代別受信件数と自殺傾向率

自殺傾向率は、2017年は10代13.3%、20代15.3%、30代15.7%、40代13.7%と、前年を1～1.9%増加している。若年層の自殺率が高いことを考えると、「いのちの電話」が自殺予防の歯止めとなる意識をもって、今後も活動を進めて参ります。

また、自殺傾向ありのうちの自殺未遂歴ありの割合は、全体で35%と前年の41.5%から減少しました。

ただ、10代だけが2.3%増加していることが、昨年の全国の自殺統計の10代だけが増加していることと何かしら関連性があるようにも伺えられ、若い世代への「いのちの電話」のより広く周知努力をする必要があると考えます。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
受信件数	332	1,328	2,700	3,661	4,099	2,298	311	519	15,248
自殺傾向数	44	203	424	501	478	208	18	42	1,918
自殺傾向率 (%)	13.3%	15.3%	15.7%	13.7%	11.7%	9.1%	5.8%	8.1%	12.6%
自殺傾向率(前年)	11.7%	13.4%	13.8%	12.7%	11.8%	9.6%	4.6%	5.6%	11.9%
傾向のうち未遂歴あり(件数)	14	73	130	177	193	64	10	11	672
傾向ありのうち未遂歴ありの割合	31.8%	36.0%	30.7%	35.3%	40.4%	30.8%	55.6%	26.2%	35.0%



2017年度 収支決算書 (2017年4月1日～2018年3月31日)

収入の部

(単位：円)

科目	2016年度	2017年度	前年比	備考
寄付金	11,587,451	13,007,379	112%	個人・企業・募金箱
補助金	2,900,000	5,373,000	185%	厚労省・北海道・札幌市
分配金	1,100,000	1,010,000	92%	北海道共同募金会
助成金	1,070,000	401,000	37%	道新・北信金(旧札幌信金)・日本郵政
養成研修参加費	486,000	743,500	153%	
その他	230,721	103,336	45%	金利他
収益事業会計繰入金	1,226,830	1,216,048	99%	コンサート事業収益金
収入合計	18,601,002	21,854,263	117%	

支出の部

(単位：円)

科目	2016年度	2017年度	前年比	備考
相談事業費計	4,621,223	5,441,101	118%	
事業管理費	1,097,328	1,427,941	130%	電話室家賃、備品レンタル費他
養成研修費	1,318,920	1,588,510	120%	養成研修講師謝礼他
継続研修費	1,507,907	1,623,261	108%	相談員研修講師謝礼他
研究調査費	82,940	49,501	60%	旭川のいのちの電話情報交換会他
広報費	524,108	706,128	135%	広報印刷費、発送費他
支援企画費	90,020	45,760	51%	フェスタ開催費他
センター管理費計	11,689,308	14,455,043	124%	
管理費	2,820,986	2,959,475	105%	水道光熱費、事務所家賃、備品レンタル費他
事務費	716,247	1,161,800	162%	通信費等事務局諸費用
事業推進費	2,313,509	2,272,229	98%	分室家賃、分室運営経費他
人件費	5,838,566	8,061,539	138%	事務局員給与他
連盟分担金	306,000	329,000	108%	
減価償却費	468,600	629,119	134%	
ゲートキーパー事業費		1,000,000		北海道ゲートキーパー費用
支出合計	17,085,131	21,854,263	128%	
収支差額	1,515,871	0		

2017年度 貸借対照表 (2018年3月31日現在)

借方

(単位:円) 貸方

(単位:円)

科目	当年度末	前年度末	科目	当年度末	前年度末
流動資産	7,999,833	7,849,842	流動負債	395,309	117,064
現金	24,172	47,098	預り金	156,414	117,064
銀行預金	1,992,804	5,116,424	未払金	41,895	
振替口座	557,868		期末手当引当金	197,000	
前払費用	79,800	77,100			
未収金	260,000	401,426	固定負債	1,026,443	
立替金	5,085,189	2,207,794	退職給付引当金	1,026,443	
固定資産	23,472,631	22,317,934	基金金	16,220,800	16,220,800
(1) 基本財産	16,220,800	16,220,800	基本金	16,220,800	16,220,800
電話加入権	220,800	220,800			
定期預金	16,000,000	16,000,000	事業運営積立金	4,000,000	4,000,000
(2) その他の固定資産	7,251,831	6,097,134			
什器備品	2,605,731	1,557,234	繰越金	9,829,912	9,829,912
建物付属設備	146,100	39,900	前期繰越金	9,829,912	8,314,041
定期預金	4,500,000	4,500,000	当期収支差額	0	1,515,871
			純財産合計	30,050,712	30,050,712
資産合計	31,472,464	30,167,776	負債及純財産合計	31,472,464	30,167,776

2017年度 監査報告

社会福祉法人 北海道いのちの電話 理事長 南 楨子 殿

2017年度の一般会計と特別会計の会計収支について記録計算に相違なく、また、業務執行状況は定款、諸規程に照らし適正に運営されていることを確認した。

監査日時 2018年5月14日

監査場所 北海道いのちの電話会議室 監事

佐藤正晴
監事 谷 永明

2018年度 事業計画

法人基本方針	運営環境の変化に対応する柔軟な組織体質の構築 設立40周年記念行事の実施
研修委員会	養成研修及び継続研修の体制、内容の検討整備
事業推進委員会	イベント活動の充実、若年層・地域・企業団体への「いのちの電話」 周知、GK研修の支援
広報委員会	年3回の広報誌発行による法人活動の周知
支援企画委員会	市民公開講座の実施

2018年度 収支予算案

収入の部

(単位：円)

科目	2017年度実績	2018年度予算	前年比	備考
寄付金	13,007,379	14,015,000	108%	
補助金	5,373,000	2,900,000	54%	北海道、札幌市
分配金	1,010,000	1,010,000	100%	北海道共同募金会
助成金	401,000	300,000	75%	道新基金、北海道信金基金
養成研修参加費	743,500	740,000	100%	
その他	103,336	85,000	82%	金利等
収益事業繰入金	1,216,048	1,200,000	99%	
収入合計	21,854,263	20,250,000	93%	

支出の部

(単位：円)

科目	2017年度実績	2018年度予算	前年比	備考
相談事業費計	5,441,101	5,420,000		
事業管理費	1,427,941	1,400,000		電話室、水道光熱費他
養成研修費	1,588,510	1,500,000		
継続研修費	1,623,261	1,500,000		
研究調査費	49,501	100,000		研修参加費他
広報費	706,128	890,000		広報誌印刷、発送費他
支援企画費	45,760	30,000		公開講座諸費用
センター管理費計	14,455,043	13,880,000		
管理費	2,959,475	2,900,000		事務局賃料、水道光熱費
事務費	1,161,800	1,000,000		
事業推進費	2,272,229	2,280,000		分室賃料他
人件費	8,061,539	7,700,000		事務局人件費
分担金	329,000	350,000		日本いのちの電話連盟
減価償却費	629,119	600,000		
ゲートキーパー研修事業費	1,000,000	0		
支出合計	21,854,263	20,250,000		
収支差額	0	0		

役員名簿

理事：2017年5月27日～2019年度定時評議員会終結の時まで

評議員：2017年6月1日～2021年度定時評議員会終結の時まで

理事長	南 禎子				
常務理事	高杉 純二				
理事	池田 輝明	佐々木敏明	島津 宏興	嶋津 博	
	坪田 伸一	牧 泰昌	宮崎 善昭	吉田 陸雄	
監事	佐藤 正晴	谷 永門			
評議員	天田 孝	池田 光幸	板垣 昭彦	伊藤 雅彦	
	今井 啓二	大町 真也	岡崎 大介	荒木 敏安	
	小谷 和雄	今野 渉	榊原 綾子	返町 賢治	
	高橋 義人	土島 一幸	福迫尚一郎	棒田 敬二	
	水野 匡勝	森田 健児	中原 准一	佐藤 國彦	
	米倉美佐男				

組織図

